

平成30年6月7日

産業建設常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成30年6月7日
開会 13時00分 閉会 13時18分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 野原恵子
副委員長 東口隆弘
委員 若山和幸 藤谷謹至 千葉幹雄 寺林俊幸
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 内山美穂子 小島智恵 谷口和弥
松村記者(勝毎) 鰐淵記者(道新)
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 議事課長 林隆則 係長 遠藤寛士
- 6 審査事件及び審査結果
- 1 付託された陳情の審査について 別紙
陳情第8号 「2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」の
提出を求める陳情書
 - 2 所管事務調査項目について
 - 3 道内視察研修について
1日目の宿泊地については、「小樽市」ではなく「札幌市」に、また、2日目に視察先として予定していた「道の駅あいろ一ど厚田」を「小樽市観光協会」に変更したい旨の委員長提案に全委員が同意。
視察日程は、7月9日～10日で進めていくこととし、1日目の出発時に札幌コミプラは経由しないこととした。
 - 4 その他
今後の所管事務調査項目については、8月9日の所管事務調査日まで各委員で検討しておくこととした。

産業建設常任委員会委員長 野原恵子

◇審査結果

(13:00 開会)

○委員長（野原恵子） ただ今から、産業建設常任委員会を開会いたします。

1 付託された陳情の審査についてです。

陳情第8号、「2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」の提出を求める陳情書についてです。この陳情を議題といたしますが、本陳情について各委員のご意見を伺いたいと思います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

千葉委員。

○委員（千葉幹雄） この種の陳情につきましては、過去、わが議会から意見書として何回か提出した経緯があります。以前からいわれていますように、ワーキングプアですとか、いろいろな意味で、ある程度の賃金は確保しなければいけないというような流れにもなっているわけでありまして、私としては、この意見書については願意は妥当だというふうに思っているところであります。

○委員長（野原恵子） この他にご意見ありませんか。

寺林委員。

○委員（寺林俊幸） この陳情の内容を精査いたしまして、主にやはり賃金が低く、年収が200万円以下というようなワーキングプアといわれるような労働者が、道内はもとより全国的にもいらっしゃるというようなことから、やはり最低賃金を守っていかねばならないというような内容の陳情であるというふうに考えるところであります。

全国的にみて、賃金は上がってきているといわれても、まだまだ1,000円までというような金額にはなっていないというようなことから、この陳情に沿った趣旨でしっかりと労働者の立場を守っていくことが必要ではないかというふうに考えるところであります。

○委員長（野原恵子） 他にご意見はございませんか。

(なしの声あり)

○委員長（野原恵子） 今、2人の委員からこの陳情に対する同意の意見が出されました。他の皆さんは意見がないということでしたが、反対の意見がありませんので、討論の必要はないと思います。それで、陳情に対しまして、採決を行いたいと思います。

それでは、陳情第8号、「2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」の提出を求める陳情書については、採択することにご異議ございませんか。

(なしの声あり)

○委員長（野原恵子） ただ今、採択することに異議がないということで、この陳情を全委員の皆さんの賛成で採択したいと思います。

この採択は異議がないということでしたので、この報告、意見書案につきましては委員長と副委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○委員長（野原恵子） それでは、そのようにさせていただきますと思います。

インターネット中継を終了いたしますので、暫時休憩としたいと思います。

(暫時休憩)